

読む・百人一首 035

紀貫之

人はいさ

心も知らず

ふるさとは

花ぞ昔の

香ににほひける

ひとはいさ

こころもしらず

ふるさとは

はなぞむかしの

かににほひける

読む・百人一首 036

清原深養父

夏の夜は

まだ宵ながら

明けぬるを

雲のいつこに

月やどるらむ

なつのよは

まだよひながら

あけぬるを

くものいつこに

つきやどるらむ